

科目分類	一般教養科目 語学・情報	開講時期	2年 後期
授業科目	中国語Ⅱ		
選択／必修	選択	単位数(時間数)	2単位 60時間
授業形態	演習		
担当教員	村田 浩		
メールアドレス	relio@gk2.so-net.ne.jp	オフィスアワー	授業前後に対応

授業目的	半年の入門的中国語を習得したことを前提に、さらに文法知識と語彙の拡充および徹底した発音練習を行う。
授業概要	ピンインに頼って中国語の発音をするだけでなく、主要な単語の発音を漢字から即座に発音できるようになることを目指す。また、基礎的な文法や語彙を習得して一定のコミュニケーションがとれるようになることを目指す。
授業内容	<p>※週2コマ連結授業のため、半期で計30回</p> <p>第1・2回 導入と前期の復習 第3・4回 第11課:経験、動態助詞“了”、お金の表現 etc. 第5・6回 第12課:進行形、持続表現 etc. 第7回 11・12課の復習 第8・9回 第13課:介詞、“是～的”表現、様態補語 etc. 第10・11回 第14課:数量補語、比較文 etc. 第12回 13・14課の復習 第13・14回 第15課:方向補語、使役表現① etc. 第15・16回 第16課:結果補語、可能補語 etc. 第17回 15・16課の復習 第18・19回 第17課:受け身文、“把”構文 etc. 第20・21回 第18課:使役表現②、“快(要)～了” etc. 第22回 17・18課の復習 第23・24回 第19課:動詞句+“的时候”、逆接表現 etc. 第25・26回 第20課:存現文 etc. 第27回 19・20課の復習 第28回 発音・語彙の総復習と文法事項のまとめ 第29・30回 総復習</p>
教科書 参考書等	小池一郎、名和又介他『新訂 開門！中国語』朝日出版社 中国語辞書の携帯を推奨。電子辞書でも可。
成績評価 基準・方法	原則として平常評価(小テスト、発表)約50%、期末試験約50%で評価する。 文法知識のみならず、発音能力と積極性を重視する。
履修要件	週に2回ある授業を両方受講せねばならない。
留意事項 その他	ローマ字を利用した発音記号「ピンイン」を徹底的に習得せねばならないと覚悟すること。 大きな声を出して発音練習をする必要があることも、あらかじめ覚悟しておくこと。 授業への積極的な参加が求められるので、やる気がないと続けられない。